

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	<p>元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進めます。</p> <p>また、農業については、町の主要産業の1つですが、後継者不足等により担い手不足の状況にあります。そのため、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進めます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 農林業振興の推進	3	B
(2) 水産振興の推進	2	B
(3) 特産品の普及と二宮ブランドとの連携	1	B
(4) 二宮ブランドの普及・促進	-	-
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中小企業の振興を図るために、商工会や商店連合協同組合と連携を図っているが、現状においては就業応援まで及んでいない。 ・遊休・荒廃農地は、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査において、増加傾向は見られないが、減少するまでに至っていないため、利用集積を促進する必要がある。 ・特産物のオリーブについては、果実等の販売や加工方法等が確立されていない。 	

総合 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚ハローワークに確認(平成29年2月)したところ、町内の約60事業所が求人募集を行っており、約150人の町民が求職者情報を登録しているが、企業側と求職者側とのズレが生じているため、原因の分析等が必要である。 ・平成28年度は、複数の就農相談を受けたが、新規農業参入には至らなかったため、更に農業参入しやすい環境づくりのサポート等を行う必要がある。 ・特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等を確立する必要がある。
	方向性	今後においても法律等の動向を注視するとともに、ハローワーク等と連携を図り、雇用の促進を図っていく。 農業については、遊休・荒廃農地の解消と新規農業参入者の増加や利用集積の促進を図る。 また、特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等の確立を図る。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、商工会や商店連合協働組合、ハローワーク等と連携し、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、経営と雇用の両面から事業者を支援することで、雇用の維持・促進を図る。併せて、農業については、国の政策が大きな転換点を迎えていることから、情報収集に努めるとともに、農業者や関係機関との連携により、農業の持続的発展と加工等による高付加価値化に向けた支援を継続する。